

青年訓練所・青年学校と高橋峯次郎

米田俊彦

Youth Training Center/Youth School and TAKAHASHI Minejiro

- ①はじめに
- ②青年訓練所・青年学校における訓練の実態
- ③青年訓練所・青年学校の諸活動、諸実態
- ④青年訓練所・青年学校の教員
- ⑤少年団・青年団
- ⑥青年たちの銃後活動
- ⑦高橋峯次郎の青年教育論、青年への期待と不満
- ⑧「満洲」への誘い
- ⑨先輩の青年たちからのメッセージ
- ⑩おわりに

[論文要旨]

藤根村の在郷軍人分会会報『真友』には青年訓練所・青年学校の教育活動の実態やその教師（指導員）であった高橋峯次郎の考え方などを伝える記事が多數掲載されている。それらを拾い出し、分類整理して青年訓練所・青年学校および峯次郎の実態を再構成してみた。

青年訓練所・青年学校での活動としては、やはり軍事訓練なしし演習がその中心であつたことが改めて確認された。軍の直接的な関与も強く推測された。

峯次郎は、いわば素朴な國家主義者であったが、特に一九三〇年代以降、「村」や「百姓」（農業）を守ることと農業を通じての人間形成に強いこだわりを示すようになる。峯次郎は教練の指導員ではなかつたが、青年訓練所・青年学校の生徒たちから慕われたらしく、兵となって村を離れた青年たちは峯次郎に対する感謝の気持ちを表明するとともに、後輩たちを厳しく訓練することを峯次郎に期待した。村を守ろうとす

る峯次郎の存在が軍隊生活を送る青年たちの心の拠り所になつたものと推察される。『真友』の記事全体を通して、青年訓練所・青年学校やその指導員が村の青年たちを兵士に仕立て上げるうえで果たした役割の大きさがうかがえる。